

平成26年2月14日

## 日刊工業新聞 掲載記事

# 濃縮粉末化装置を拡販

### 櫻製作所 年50台受注へ用途開拓

櫻製作所（大阪市淀川区、井上正基社長、06

6302・5321）は、膜を使わずに溶液や汚泥を濃縮、粉末化する装置「ハイエバオレータ」の拡販に乗り出す。

大阪、東京の営業要員をそれぞれ1人ずつ拡充。従来は塗装関連などが中心だったが、食品、化粧品など幅広い用途を開拓

する。同装置は開発後15年で累計400台を納入。今後は年間50台と規模を拡大した受注を目指す。

櫻製作所の営業体制は現在7人。2014年初めから東京を3人から4人に増やした。東京地区の新規顧客の獲得が狙い。大阪も今春をめどに1人増やし4人にする。

同装置は円筒状の槽形状で、内部に濃縮した対象物をかき落とす回転ブレード（羽根）を備える。槽の外側が2重になり、そこに蒸気などの熱を通して加熱。上から溶液などの対象物を投入すると下に向かって濃縮され、含水率5%以下の粉末にできる。容積で100分の1になり、廃棄物

の処理負担が減るほか、成分によっては再利用が可能。

これまで塗料からシンナー、水を分離して再利用する施設や、みその生産で生まれる大豆の煮汁からイソフラボンを抽出する施設などの納入実績がある。同装置の価格は、処理対象の規模に応じて1500万円から1億円以上と幅がある。

